

企画提案書

1 プロジェクト名

地域力による高齢者・障がい者の通院車両運行

2 実施理由・背景

私たちの住む地域は、総合病院等の有る中心市街地から10kmほど離れた山あい集落が点在する特異性があります。

長い距離の歩行が困難な高齢者や、障がい者の通院手段として路線バスの利用は困難で、自家用車か福祉タクシー利用となっています。

近年高齢者の運転免許証返納が増え、高齢者のみ世帯では自家用車利用からタクシー利用となり、経済的負担も大きく公的支援が求められています。しかし、行政も厳しい財政状況にあり、地域に特化した公的支援は、公平平等の基本からも市民のコンセンサスを得るのは難しいとことであります。

こうした背景から、地域住民自ら地域のためにと、WAM等から3年間助成を受けるなどして、約10年継続していますが、年々増加する利用希望者の切なる声に応える為に、地域の企業や個人の方々からの寄附等で運営費を賄い、自主的に協力していただいている運転ボランティアへの僅かな謝金も無しで対応しております。

ウイルスの影響で、地域の経済にも少なからず影響があり、寄附も期待が出来ない事態に直面し、事業継続の瀬戸際にあります。しかし、利用者の切なる声を受け止め、通院支援事業を継続して行かなければと考えています。

3 プロジェクト内容説明・スケジュール

背景でも述べたとおり、利用者の自宅は中心市街地から10km離れた山あいに点在することから、ドアツードアでの送迎を行っています。

利用者の通院理由は主に定期受診で毎月1回から2回、中には複数の病院に通院され月4回以上通院されている方もいます。

運転ボランティアの皆様は、法人の車両駐車場まで自家用車で来て、支援車両に乗り換え⇒利用者宅病院⇒自宅等で待機（診察・処方薬受取の間）⇒（検診終了後）病院⇒利用者宅へ送る⇒法人駐車場で自家用車に乗り換え帰宅⇒概ね3時間（午前1回・午後1回）の1日2回運行していただいています。基本的に病院が休診の日曜日、及び年末年始とお盆以外は、毎日通院支援車両の運行をしています。

4 目指すところ

地球環境も社会も変化して続けて行くのは自然の摂理で有り、私たちの住む地域でも出生率の低下と平均寿命の増大が同時に進行して、想像していなかった様々な事が顕在化しています。国連が採択した「誰一人取り残さない」という理念のもと、持続可能な開発目標として17項目を掲げるSDGsのNo3【すべての人に健康と福祉を】「あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」ことを実践し、地域の子供からお年寄りにいたるまで、地域を愛し・助け合い・支え合い・励まし合える「歴史・文化・伝統を大切に人に温かいふるさと丸子」を目指しています。

私たちの地域以外にも少子高齢化が顕著になっている地域もあるので、このプロジェクトの必要性が静岡市民に広く認められ、静岡市内各地のモデルとなれるよう多くの方に支援頂き活動して行きます

5 寄附の使い道

運行車両は2台で「ちゃー丸号」と称し、1号車＝所有自家用車1台 2号車＝リース車両1台

I：ちゃー丸1号車

① 任意保険＝23万円 ②車検・法廷点検費＝20万円

③ 燃料費：10万円

II：ちゃー丸2号車

① 車両レンタル費用＝34万円合計 ②燃料費：10万円

III：共通

① 運転ボランティア謝金：30万円

② 返礼品・送料・手数料＋租税：22万円

③ 雑費 11万円

合計160万円

応募金額の100万円を充当し残りは自己資金でまかなう

6 ネクストゴールの設定

ネクストゴール設定額： 0円

ネクストゴール設定時の事業計画

無し

7 目標金額に満たない場合

目標金額に満たない場合でも、車両維持補は削減出来ないので、運転ボランティアも謝金を切り詰め、善意で協力していただき事業は継続して行きます。

8 団体紹介

平成 23 年 4 月：任意団体設立

平成 26 年 1 月：NPO法人登記

平成 27 年 12 月：認定NPO法人として認定

丸子まちづくり協議会は、10年前に想像を絶する東日本大震災の壮絶な中継映像を目の当たりにし、地域は地域で守らなければならぬと、地域の既存組織・団体・企業等の協議体として発足しました。東海道 20 番目の宿場町【丸子宿】を中心に、宇津ノ谷峠・岡部宿をはじめ 2 峠 6 宿と連携して歴史的財産を有効利用し、地域力を生かして《住んで良し・訪れて良し・学んで良し》をコンセプトに「心の通う優しいまち丸子」の持続をジビョンとしています。

財政的に厳しい状況ではありますが、地域の皆様から求められている活動であり、今後 10 年は持続したいと考えています。

ふるさとを離れ静岡市外で生活する人達が、ふるさと丸子に住んでいる両親や祖父母の為に、ふるさと納税のスキームを活用した、ガバナンスクラウドファンディングを通じ、心からの支援をして頂く事を願っています。

9 広報計画

・年 4 回発行され地域全戸に配布される地域広報誌に、ふるさと納税スキームの周知、通院支援車両運行利用者募集、及び運転ボランティアの募集記事を掲載し、広く情報を周知するとともに、自治会連合会理事会や地域福祉協議会運営会議などで、事業の周知と協力を要請する。

また、地域内の高齢者施設などから、利用希望者の紹介をして貰う関係を構築する。

通院支援車両利用者等に、ふるさと納税でふるさと丸子への支援を進める書面（メッセージレター）を、都会に住む子供や孫に送って貰うよう以下のような広報活動を行います。

- (1) 私たちのプロジェクトの写真と記事を自治会連合会や地域福祉連絡協議会、及び地域の民生委員会の会合に配布します。
- (2) 車両利用者の方（約 50 人）を中心に地域の皆様に、離れて暮らす子供やお孫さんへお手紙を出して、「ふるさと納税で私たちのプロジェクトを応援してください」というメッセージレターに、クラウドファッディングの URL を QR コード化して掲載することで、直接私たちのプロジェクトへ導き、ターゲットとする人の目に入る工夫をします。

10 目標金額

1,000,000円

積算書

団体名: 特定非営利活動法人丸子まちづくり協議会

収入			1,600千円
	科目	内容・数量	金額
ふるさと寄附金	寄附金		1,000千円
まちづくり協議会	自己資金		600千円
合計			1,600千円

支出			1,600千円
	科目	内容・数量	金額
事業費			1,376千円
通院支援事業	運転手謝金	通院支援 600 回/年 @500 円	300
	リース料	通院車両リース 32607 円×6 月 23721 円×6 月	338
	整備費	車検、法定点検等	200
	燃料代	ガソリン代 17000k/2 台/年 13k/ℓ @153 円	200
	保険	任意自動車保険 送迎サービス保険 ボランティア活動保険	230
	雑費	自動車税、消耗品、印刷代、他	108
その他			224千円
	手数料相当	12%+税	132
	返礼品	3万円×10人 1万円×20人 4000×10=40000 1000×20=20000	60
	送料	@1060×30=31800	32
合計			1,600千円